当院における母乳育児支援の方針

赤ちゃんにやさしい病院：BFH（Baby Friendly Hospital）

1．「母乳育児支援成功のための 10 ヵ条」に基づきケアを展開し、「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」を遵守します。

2．妊娠中からの母乳育児支援を行います。

①妊娠中に母乳育児の利点と母子同室の大切さを説明します。

②妊娠中から母乳育児の楽しさを伝えます。

3．出産後に早期皮膚接触を行ない、母子の早期接触及び早期授乳に努めます。

①正常分娩後 30 分以内に直接授乳を行います。

②帝王切開術後は赤ちゃんに対応できるようになった後 30 分以内に行います。

4．産後入院中のお母さんへの母乳育児支援を行います。

①母子同室をすすめ、母子が終日一緒にいられるようにします。

②赤ちゃんに頻回に授乳を行う必要性や効果的な授乳方法を説明し支援します。

③乳房トラブルを未然に防ぐ方法を教えます。

④赤ちゃんと離れているお母さんに母乳分泌を維持する方法を説明し支援します。

⑤問題のある場合は、カンファレンスを行い、対応策を検討し支援します。

5．赤ちゃんへの基準に沿ったケアを行います。

①アセスメント・ツールに従って、赤ちゃんの健康状態を把握します。

②当院の「糖水･人工乳の補足基準」に該当しない場合には、母乳以外を与えません。

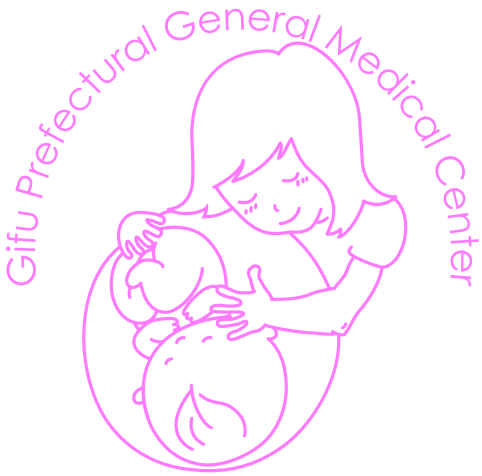
③母乳で育てている赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えません。

6．退院に向けての支援を行います。

①退院後、母乳育児やその他で助けが必要な時は、いつでも母乳外来を受診するようにすすめます。

7．退院後も継続的に母乳育児支援を行います。

①母乳外来において卒乳までの支援を行います。

8．職員が母乳育児に対して興味や知識がたかまるような学習会を開催します。

9．BFHI 推進委員会を設置し、継続的に母乳育児支援に取り組みます。